

ファミリーサイエンス教室
Family science seminar

徳島県立あすたむらんど
Tokushima science museum

[実施日]

2019年4月14日～2019年7月6日

[実施場所]

徳島県立あすたむらんど 子ども科学館

[関連の深い Goal]

Goal 4 質の高い教育をみんなに

Goal 1 5 陸の豊かさも守ろう

[実施報告]

ファミリーサイエンス教室では、親子で科学教室を体験していただく事業です。普段は子どもたちが対象の科学教室ですが、この事業では大人の方も積極的に参加していただき、一緒に学んでいただきます。4月から7月までに4回の講義があり、スライムを作ったり、虫眼鏡を使った簡易カメラを親子で作ったりしていただきました。また、チリメンジャコに混じった生き物の観察や園内で発生したカブトムシについても学びました。どの回でも親子で協力して教室に参加してくださり、特に大人の方のほうに熱心に話を聞いている様子でした。7月に行われた4回目は、あすたむらんど園内にて取り組んでいる、剪定材を堆肥にするリサイクルについて学んでいただきました。また、堆肥に自然に発生したカブトムシを参加者に自分たちで捕まえて、持って帰っていただくことでエコな活動とともに、環境と生き物のつながりについても考えてもらえる機会となりました。カブトムシは夏休みの自由研究として大事に飼われたようです。子ども科学館として、普段は子どもたちを対象に、いかに楽しんで学んでもらえるかを考えていますが、それとともに親の科学教育についても取り組み、地域全体の科学リテラシーの向上が必要だと思っています。また、環境に対する活動も多様なアプローチがあると思いますが、子どもたちが喜んでくれる要素と結びつけることでやる気生まれて、より学習意欲が高くなると思います。今後も幅広い年齢の方に学んでいただけるような教室づくりと、魅力的な活動内容づくりを心掛けていきます。



堆肥場にて、取り組みについて説明を受けています。



カブトムシを捕まえています。